

# 学員会2014年度の活動方針

## 学員ネットワーク拡充と 会員サービスの一層の向上をはかる



2014年5月17日の定時協議委員会・定時学員総会の様子。前日には全国支部長会議が行われた

中央大学の卒業生は学員と呼ばれ、その数は約54万人にのびます。その学員を束ねる組織・学員会は、年に一度総会（定時協議委員会・定時学員総会）を開き、前年度活動の総括と、当年度の取り組みを決定します。

2014年度の定時協議委員会・定時学員総会は5月17日（土）に駿河台記念館で開催され、学員ネットワーク拡充と会員サービスの一層の向上という基本方針のもと、そのための具体的な施策が決定しました。

以下にその一部をご紹介します。

### 会報コンテンツの実施

学員会には現在、地域・職域・年次あわせて231の支部が活動しており、多くの支部が定期的に「会報」を発行しています。「会報」は会の活動報告とともに、会員間の消息確認や、さまざまなイベントの告知、参加呼びかけ、

大学支援のための情報提供の媒体として大きな役割を果たしています。

学員会ではこのほど、各支部の会報を集めたコンテンツを実施することとなりました。それぞれの会報の企画、記事内容、装丁デザイン、発行回数、さ

らには会員の取り組みなど、さまざまな角度から評価し表彰を行うことで、会報づくりに対する意欲を促進しようという試みです。

まずは今年度発行分について募集し、年度末に発表する予定です。

### 記念誌に対する補助金交付

また今回、学員会支部が特別に発行する周年「記念誌」に対し、補助金を交付し、支援する新企画を発表しました。

2013年度も多くの支部が「設立〇周年」

「卒業〇周年」など節目に記念誌を発行しています。記念誌は通常の「会報」以上に、費用はもちろん、会員の労力がかかります。

学員会ではこの記念誌発行に補助金を交付することで、各支部の「周年行事」等記念事業の支援を行っていくこととなりました。

### 「白門タウン誌・白門ビジネス誌」を発行 地域の学員会支部の活動も紹介

各地域支部や多くの学員のご協力により、全国、また海外の“白門の店”“白門の会社”を掲載した「白門タウン誌・白門ビジネス誌」が完成しました。

本冊子の発行は、一般の方に「白門」「中央大学」をPRすることはもちろん、学員が母校や学員の連帯を再確認する機会・媒体となることを大きな目的としています。大企業・有名企業だけでなく、全国・海外においてさまざまな業態で学員が活躍していることを具体的に伝えるツールとなり、中央大学のブランドの向上に役立つことを目標に発行しました。

また、「学員会をもっと知ってもらおう」という意図から、学員会の活動や地域支部の活動なども掲載しています。

学員会の活動への理解を深め、支部活動への参加者を増やすためのツールとしてご活用ください。



「白門タウン誌・白門ビジネス誌」 2014年3月31日発行 B5判68ページ

編集・発行 中央大学学員会本部 お問い合わせは [gakuin@tamajs.chuo-u.ac.jp](mailto:gakuin@tamajs.chuo-u.ac.jp) まで

# 学会支部設立について

学会は全国の「白門会」を応援し、  
支部登録を推進しています

年次支部で一番若い「白連会 2014 支部」に支部旗を贈呈



長年支部の活動に貢献した会員への表彰

学会の地域支部は全国にあり、各都道府県に 1 支部、北海道、東京、神奈川、静岡などには複数の支部があります。その数は海外の支部を含めて 100 支部以上にのぼります。また、職種別で組織する支部、官庁・企業など職場で組織する支部、同期で組織する支部も 100 支部以上あります。そして、これら学会が公認する支部以外にも、企業、県庁、市区役所などには多くの白門会組織があり、盛んに活動しています。

学会は白門会の設立や運営の支援と、学会支部としての登録を推進しています。

## 学会支部と白門会

中央大学の同窓会の多くは「白門会」を名乗っています。この同窓会のうち、中央大学学会の支部会員の 100 名以上が学会費を納めているなど支部認定の基準を満たす団体は、「学会支部」として学会の意思決定に関わるとともに、各種のサービスを楽しむことができます。

支部は学会、あるいは大学の役員

選出母体ともなりますので、母校支援を目的に結成された白門会の多くは、まず支部となることを一つの目標に活動しています。

会員ネットワーク拡充＝白門会活動を拡げていくことは、学会の重点施策です。地域や年次、職場や業種、サークル OB 会などさまざまな単位での支部の設立につ

いて、あるいは白門会の結成については学会本部にご相談ください。

なお、過去、支部の名称使用についても規定がありましたが、現在は母校のブランドである「白門」を努めて使用するよう、既存支部に「白門」「白門会」への呼称変更や、新支部結成に際しての「白門会」の呼称採用を積極的に働きかけています。

## 支部活動の支援

- 新設支部に支部旗贈呈  
2014 年度は白連会 2014 支部、中央大学\*ゴルフ健康増進会議白門会に支部旗を贈呈
- 活動費の補助
- ホームページ制作費補助等広報活動支援
- 駿河台記念館の会議室使用（無料または一部割引）



支部が作成したホームページ  
(画像は千葉県支部と白門三九会支部)



箱根駅伝では、たくさんの会員がかけつけ、沿道で選手に声援を送った

# 2013 年度 白門支援金

## 学員・学生支援に総額 3,100 万円の事業予算を決定

「学員ネットワークの拡充・強化」と「学生諸活動支援」を目的に創設した白門支援金制度により、学員の皆様から 2013 年 1 月呼びかけ分で約 3,100 万円のご支援をいただきました。皆様のご支援・ご協力に厚くお礼申し上げます。

2013 年度中に学員・学生支援のために下記の内容で拠出(一部 2014 年度執行予定)しましたので、ご報告いたします。



19 階からの展望が素晴らしい最高のロケーションの「大阪白門サロン」。学員カードの提示で利用が可能

### 白門支援金の目的

- 1 支部活動活性化への基本的施策
- 2 白門サロンの開設等学員向けサービスの推進
- 3 学生スポーツの振興、就職・諸活動向け支援

## 大阪白門サロン開設

中央大学学員会では、学員のくつろぎと交流の場として駿河台記念館 7 階に「白門サロン」を設置・提供していましたが、このほど、大阪にも「大阪白門サロン」を開設しました。

この「大阪白門サロン」の開設は、大阪新阪急ホテル運営の会員制クラブ（関

西文化サロン＝大阪・北区。阪急グランドビル 19 階）に学員会が法人として入会し、実現したものです。学員の会合やパーティー、また学員同士の待ち合わせや食事会などにご利用いただけます。



大阪白門サロンの「桐の間」

## 学員カードについて

学員カードは、学員会費を納められた方にお送りしています。大阪白門サロン等をご利用の際ご提示ください。

### 会費未納の方

学員会費は、3 万円（終身会費）です。会費の納入については、学員会に振込用紙をご請求ください。追って学員会より振込用紙をお送りします。会費の入金の確認ができ次第、学員カードをお送りします。

※学員カードの発行には、入金確認後 1 カ月程度お時間をいただいております。

学員会に専用の振込用紙をご請求ください

↓  
学員会費 3 万円（終身会費）ご入金

↓  
学員カードをお送りします（ご入金から 1 カ月程度）

### 学員カード再発行について

学員カードの再発行には手数料が 1,000 円かかります。学員カードの再発行をご希望の方は、学員会に振込用紙をご請求ください。追って学員会より振込用紙をお送りいたします。

※学員カードの再発行には、入金確認後 1 カ月程度お時間をいただいております。

### 【請求先】

学員会本部事務局  
gakuin@tamajs.chuo-u.ac.jp



## 学生の被災地支援ボランティア活動を支援

中央大学では、2013年度も学生部が継続的に被災地支援ボランティア学生を派遣しています。学会では、この活動に参加した中大生の東京一被災地間の交通費や宿泊費の補助等として白門支援金から約300万円を拠出しました。

学生ボランティアの主な活動としては、仮設住宅でのコミュニティ支援、学習支援、漁業支援、植樹活動、イベント運営などが行われており、「学员時報」2014年3月号に学生からの報告が掲載されています。



漁業支援活動（気仙沼市大島）

## 南平寮のトレーニングルームに機器・器具を贈呈

京王線の南平駅に隣接する住宅地にある南平寮（東京・日野市）では、約500名の学友会体育連盟の部員が生活しています。

学会では、学员体育会の協力のもと、同寮内に設置されているトレーニングルームに機器や器具を贈呈し、中大ス

ポーツの振興のために鍛錬を重ねる学生たちが最高の環境でトレーニングを行えるよう支援しました。これは2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての基礎体力強化支援の一環でもあります。



### 贈呈した主なトレーニング機器・器具

◇ファンクショナル・トレーニング・マシン（全体的な身体能力の向上） ◇フリーウェイトトレーニング用ラック（スミスプレス） ◇エアロバイク（有酸素運動） ◇バランス・コアトレーニング用の用具 ◇その他（移動式ミラーなど）

## 「公益財団法人白門奨学会」について

## 支援・寄付のお願い

学会では、経済的事情により学業を継続できないおそれのあるすぐれた学生を対象に、学資金を貸費、給費する等の方法によって援助、救済するための奨学制度が設けられています。この奨学制度を担っているのが「公益財団法人白門奨学会」です。同会は中央大学学会の学员奨学金としてスタートし、1978年に財団法人白門奨学会、2014年4月より公益財団法人となりました。

本会の資産はおもに中央大学卒業生の積極的なご協力とご支援により成り立っています。2013年度までに貸費した学生は268人、給費494人、研究費給費115人、冠奨学金給費375人となっています。また奨学金は、現在のところ学部学生・大学院生および外国人留学生を対象に年間あたり約1,500万円の給付を行っています。

以上の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 〈平成26年度給費予定〉

一般給費	36万円×15人
外国人留学生給費	36万円×15人
研究費給費	20万円×9人
寄付者指定による冠奨学金	24万円×14人
合計	53人 1,596万円

修学困難な学生への寄付ご賛同とご支援をお願いいたします。 ※白門奨学会への寄付に対しては、「免税措置」が講じられます。

### 1. 募金の種別

法人：1口10万円以上 個人：1口1万円以上（法人・個人とも口数は任意です）

### 2. 寄付金納入方法

(1) 専用の振込用紙による寄付（振込手数料なし）

専用の振込用紙を白門奨学会事務局より郵送させていただきますので、お手数ですが下記事務局までご連絡ください。

〒104-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11

中央大学駿河台記念館（7F）公益財団法人 白門奨学会

TEL：03（3292）5399 FAX：03（3219）6177

(2) 郵便局での振込による寄付

郵便振替口座 00160-7-7120

三井住友信託銀行本店営業部 あて

（備考欄に「白門奨学会基金」と記載）

にお振り込みください。